

令和4年4月

城南学園幼稚園
園長 太田友子

令和3年度 教育評価の結果について

本年1月実施の『教育アンケート』の結果をもとに、下記のとおり、学校関係者評価委員会を開催しました。

つきましては、教育評価の結果を別添のとおりご報告いたします。

記

城南学園幼稚園 学校関係者評価委員会

日時：令和4年3月2日（水）

会場：城南学園幼稚園 園長室

内容

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成20年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成26年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（令和3年度 敬称略）

- ・大方 美香（大阪総合保育大学 学長）
- ・西川 仁志（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・山北 浩之（城南学園小学校 校長）
- ・小縣 由明（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）・加藤慎也（事務局長）・戎島 歩（主任）

城南学園幼稚園

学校関係者評価委員会 設置要項

令和4年3月1日

1. 趣旨

学校教育法の改正により、平成20年度から「学校は文部科学大臣の定めるところにより、当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずること」とされている。

本園では、従前より「年度末反省」及び行事ごとに「保護者アンケート」を行ってきたが、上記法律の趣旨に鑑み、学校評価の一層の充実を図るため、平成26年度より学校関係者評価委員会（以下委員会）を設置する。

2. 評価の対象と意図

評価対象は、「教育力」「経営・運営力」「人材力」「その他」とし、幼稚園の運営状況及び教育活動についてその成果を検証し、必要な改善点を明確にし、さらなる質的向上を果たす。また、幼稚園が適切に外部に対して説明責任を果たすことにより、保護者や地域からの信頼を高め、連携を促進していくことを期待している。

3. 委員会の構成（令和元年度 敬称略）

- ・大方 美香（大阪総合保育大学 学長）
- ・西川 仁志（大阪城南女子短期大学 学長）
- ・山北 浩之（城南学園小学校 校長）
- ・小縣 由明（保護者会 会長）
- ・竹内 昭圭（地域代表）

学校委員

- ・太田友子（園長）
- ・加藤慎也（事務局長）
- ・戎島歩（主任）

4. 委員会の開催

委員会の開催は年1回とする。（2月から3月にかけて）

5. 評価結果の報告と公開

- ・設置者（理事長）に報告（3月）
- ・幼稚園ホームページ（4月）に掲載

城南学園幼稚園

令和3年度 教育アンケートによる教育評価 保護者 213/229回収率(93%)

項目	評価	内容	改善・充実の方向性
園の特色	A A	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。 (92%) →	幼稚園全体に明るく開かれた雰囲気が醸成され、数年来、園の特色として評価されている。教職員の資質・能力の向上と職場環境の適正化に一層努めていく。
教育方針	A B	「小学校につながる」(91%) ↑ 総合学園のよさ (86%) ↑	幼小連携の重要性については理解が深まり、年々、期待の高まりを感じられる。 教育実習生に好意的な声もあり、総合学園のよさを活用する取組みをより充実させる。
		「共に育てる」関係づくり	期待する声が寄せられており、子育て支援の充実を図る。
	B	3つの力 (84%) ↓ 外部講師による教育 (90%) ↑ 行事内容・回数等 (86%) →	毎月発行の学年だよりには、3つの力の具体的な姿が示されてよくわかるとの声がある。参観機会の復活を図る。 「かがくタイム」(年中・年長対象)を新たに取り入れた。コロナ禍での創意工夫ある実施に評価がある。
運営力	B B	報告・連絡・相談 (87%) → 全教職員で対応	確かな「チーム力」を發揮するため、今後も徹底を図る。 担任以外の教職員の間わりにも評価の声が高い。
危機管理	B	緊急情報の提供 (72%) ↓ 災害防止対応 (88%) →	SNSでの日々の発信に評価の声がある。ICTを活用した連絡配信システム等の改善・充実を図る。 避難訓練等の更なる充実・改善を図る。
教育力	A	幼児理解と誠実な保育 (97%)↑ 集団を活かした創意工夫ある保育 (90%) ↓ 保護者との信頼関係の構築 (95%) ↑ 発達差、個人差に応じた保育 (92%) →	共感的理解に基づいた幼児理解を基本に、対話による保育が園全体で実践されている成果である。継続する。 発達に応じた集団づくりを推進するために、自由遊びや劇遊びなど、創意工夫のある保育を研修により充実させる。 日々の保護者との丁寧な対応を積み重ねて、「共に育てる」関係づくりをより推進する。 「園の教育はわが子に合っている」と満足度が高い。園内・園外研修により、個々の保育力をより高めていく。
施設設備	A	安全・安心な施設 (94%) → 清潔・安全な整備 (94%) → 車送迎によるマナー	感染症防止対策の徹底、警備員の配置を続行していく。 トイレなど専門スタッフによる清掃、安全点検を励行する。 駐車違反への厳しい声がある。モラルの向上を促す。
給食	B	アレルギー等への対応 (81%) ↓ 内容・量・質	現状では、アレルギー食を提供できないケースが複数ある。 日々の給食指導の安全管理の徹底を行う。 温かい米飯配膳、季節行事に因んだ給食内容の充実を図る。
通園バス	B	安心・安全な運行 利便性 (78%) ↓	きめ細やかな対応に感謝されている。 GPS機能の設置に感謝の声がある。
預かり保育	B	安全・安心な運営 (81%) ↑ 利用方法の簡素化	コロナ禍での実施に評価あり。指導体制のより充実を図る。 利用方法の簡素化を検討する。
課外クラブ	B	種類 内容・回数・料金 (67%) ↓	新しく、「プログラミング」「新体操スクール」の導入を行い、一層の充実を図る。

城南学園幼稚園
令和3年度 教育アンケートによる教育評価

機関用

4名/全5名

項目	評価		内容	指標	指標の意見等
	A	B		A B C	
園の特色	A	A	幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる。 (92%) →	A B C 4 0 0	<ul style="list-style-type: none"> ・経営方針にいつも感謝を受けている。特に、保育者である前の人としての「人間力」を重視されている。人とのつながりを大切にされた運営をされており、今後、学園内での連携が一層向上することを期待している。
教育方針	A	A	「小学校につながる」(91%) ↑	A B C 4 0 0	
	B		総合学園のよさ (86%) ↑		
	A		「共に育てる」関係づくり		
教育内容	B	B	3つの力 (84%) ↓	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育に近道はない」「明るい心で子ども・保護者・同僚に向き合う」どれをとっても、まさに保育者にとどまらず教育者すべての原点となることである。それを確かな理論と実践、強い指導力と教育への愛で進めてこられた園長に改めて感服した。と同時に、教育の原点は就学前教育にあることを再認識させられた。
	A	A	外部講師による教育 (90%) ↑	3 1 0	
		B	行事内容・回数等 (86%) →		
運営力	A	B	報告・連絡・相談 (87%) →	A B C	
	A	A	全教職員で対応	4 0 0	
危機管理	B	B	緊急情報の提供 (72%) ↓	A B C	
	B	A	災害防止対応 (88%) →	2 2 0	
教育力	A	A	幼児理解と誠実な保育 (97%) ↑	A B C 4 0 0	<ul style="list-style-type: none"> 今後は小学校とのつながりでは、教育内容を含めたさらなる充実を期待する。
	A	A	集団を活かした創意工夫ある保育 (90%) ↓		
	A	A	保護者との信頼関係の構築 (95%) ↑		
	A	A	発達差、個人差に応じた保育 (92%) →		
施設設備	A	A	安全・安心な施設 (94%) →	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ・園長自らが日々幼児教育を学び続けられている姿に敬服している。理論と実践を結びつけたご指導は素晴らしい。
	A	A	清潔・安全な整備 (94%) →	3 1 0	
	B		車送迎によるマナー		
給食	B	B	アレルギー等への対応 ((81%) ↓)	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆さまの思いや期待を園運営や保育者育成に反映されており、昨年を上回る教師力の向上は何より素晴らしい。幼児理解は一番の基礎である。
	B	B	内容・量・質	1 3 0	
通園バス	B	A	安心・安全な運行	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、積極的に行事等を実施されたことを評価している。
	B	B	利便性 (78%) ↓	1 3 0	
預かり保育	B	B	安全・安心な運営 (81%) ↑	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人への対応はご苦労がある。学級担任以外の補助体制が、より充実されることを期待する。
	B	B	利用方法の簡素化	3 1 0	
課外クラブ	B	A	種類	A B C	
	B	B	内容・回数・料金 (67%) ↓	1 3 0	

令和2年度 教育アンケート

15名

教職員用

	項目	内 容	評価の観点	評 値 者						
				5	4	3	2	1	?	
教 育 力	教育計画力	園の教育理念や方針に基づいた保育計画により、保育を展開している。	園の教育理念や方針に基づいた保育計画を立て、実施後に考察・評価を加えて保育の向上を図っているか。	3	10	2	0	0	0	0
	ことばの力	ことばの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、絵本や話し合い活動が好きになってきているか。	5	10	0	0	0	0	0
	からだの力	からだの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、体を動かす遊びが好きになってきているか。	8	5	2	0	0	0	0
	こころの力	こころの力を育成する保育活動をしている。	子どもたちは、挨拶・感謝・謝罪する心などが育ってきているか。 子どもたちは、友だとの活動に喜びや楽しさを感じるようになってきているか。	6	6	3	0	0	0	0
経 営 ・ 運 営 力	組織力	チーム力を発揮する組織になっている。	園の職員会議、企画会議、学年会議は機能しているか。 教職員は、教育方針を意識して日々の保育に臨んでいるか。 教職員は、報告・連絡・相談を徹底して実行しているか。 職場は、明るく開かれており、働きやすい雰囲気があるか。	4	9	2	0	0	0	0
	発信力	保護者や地域から「見える幼稚園」になっている。	HP・LINE・園長室（学年）だより・写真掲示などは、「見える幼稚園」につながる方策になっているか。	6	8	0	1	0	0	0
	連携力	城南学園の特色を生かした取り組みをしている。	招待保育・園庭開放・体験保育は、園児募集に効果的であるか。 小）体験入学・模擬テスト（高）見学との連携はできているか。 大）教育実習・保育見学・夏祭り・クリスマス会など連携ができているか。	5	4	2	1	0	3	2
	安全管理力	安全・安心な環境づくりをしている。	防災マニュアルの作成など安全管理の対応は迅速・的確であるか。	4	8	2	1	0	0	0
人 材 力	成長力	R=PDCA（自己評価システム）がある。	よりよい園づくりに保護者・教職員アンケートを活用しているか。	11	3	0	1	0	0	0
	教員育成	園内研修が教育目標に向けた充実している。 園外研修が各自の成長課題に応じている。	園内研修は、日々の指導に生かされる内容となっているか。 教職員は、各自の成長課題を意識して向上に努めているか。	7	5	3	0	0	0	0
	幼児理解力	個に応じたきめ細やかな保育力を高めている。	担任は、幼児理解に努め、保育に誠実に向き合っているか。	4	7	4	0	0	0	0
	保護者対応力	築き、保護者対応力を高めている。	担任は、保護者と良好な（信頼）関係を築くための努力をしているか。	7	7	1	0	0	0	0
そ の 他	特色ある 教育活動	小学校につながる学びの基礎を培う幼児教育を豊かな遊びを通して展開している。	発達段階に応じた学びの芽生えを意識してみとり、振り返り活動で言語化や対話などにより、気づきが深まるような働きかけをしているか。	6	8	1	0	0	0	0
	子育て支援	預かり保育・早朝保育の充実を図っている。	園は、無償化の趣旨に則り、子育て支援の向上に努めているか。	6	7	1	1	0	0	0

教育アンケートの結果について 令和4年3月 *(昨年度比 増減を表わしている)

<園の特色>

「幼稚園全体が明るく開かれた雰囲気があり、好感がもてる(11)」では、194名(92%)(±0%)が満足されており、「教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている(17)」では、201名(95%)(+4%)が満足されていた。これは、経営方針「育つ幼稚園」のもと、共通理解・確認を重視した指導体制を行うとともに、「共に育てる」保護者との信頼関係づくりに努めてきた成果であると受け止めている。

⇒ 幼児期の特性として、家庭生活と園生活との連携によりふさわしい教育環境が実現できることから、(11)と(17)を維持しながら、「共に育てる」関係づくりを推進していく。

<教育方針と教育力>

教育力では、「園の教育は、お子さんに合っていると感じられる(4)」があるが、194名(92%)(±0%)が満足されており、そのうち117名(55%)(±0%)が「強くそう思う(5段階)」であることがわかる。その要因として、「総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を開催している(1)」86%(+3%)と、「教育理念「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」は現代の教育課題を踏まえており、それに沿った教育活動が展開されている(2)」91%(+5%)を本園の特色として期待して入園されており、実際、統計処理をすると相関関係は強いことが明らかになっている。

⇒ 今後も(1)と(2)の「見える化」を一層図りながら、(4)の満足度を高めていく。

教員の指導力に関して、「教員は、子ども理解に努め、誠実に保育に取り組んでいる(15)」では、209名(97%)(+5%)ときわめて高い評価を得た。

⇒ (15)は、教職経験年数に関わらず、保育者の基本的な姿勢として重要な項目である。園内研修でも、随時具体的な事例をあげながら研修を進めており、今後も引き続き取り組んでまいりたい。

「教員は、集団を生かした創意工夫ある保育に取り組んでいる(16)」では、90%(-2%)で一定の評価を得ている。

⇒ 集団を生かした保育は、幼稚園教育ならでは特色のひとつである。園内研修の研究課題にも設定しており、今後も継続的に実践力の向上を図っていく。

<教育内容>

教育成果として子どもの成長を感じとりやすい園行事については、「園行事(内容、回数)に満足している。(例)運動会、作品展、生活発表会(4)」では、183名(86%)(±0%)が満足で、コロナ禍の中、創意工夫しながら実施したことに対するご理解や感謝の声も多く届けられている。

⇒ 行事等の目的を吟味しながら、今後もよりよい内容や実施の在り方について模索していきたい。

本園の教育内容「3つ(からだ・こころ・ことば)の力を育てる教育活動に満足している。

(3)」では、84%(-7%)で、満足度はおおむね良好とはいうものの、参観など園内に入る機会の減少に伴い、日頃の教育活動が保護者には見えにくいことが考えられる。

- ➡ 毎月発行の学年だよりには、3つの力について、具体的な教育活動や園児の姿を明示しており、この取組みに対して評価の声も届いている。今後も継続して保護者の理解を深めてるために、写真やFacebookなどを活用した発信も行い、教育活動の「見える化」を一層推進していく。

＜運営力＞

「教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営に努めている(12)」87%(-1%)で、おおむね良好ではあるものの、一部において、情報共有が十分でなく、初期対応に課題のあるケースもあった。

- ➡ 課題が生起するごとに、教職員全員で課題を共有し、課題解決の方法等について確認している。教職員の危機管理に対する意識については、一人一人に応じた育成も行いながら組織力を高めてまいりたい。

＜危機管理＞

「避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理に努めている(13)」88%(±0%)で、「写真掲示、Facebook、HP、LINEなどの情報発信に努めている(10)」72%(-4%)であった。

- ➡ (13)については、コロナ感染の状況について、瞬時に情報を伝達できる利便性があるため活用できている。次年度以降、ネット環境の整備などICTの充実・改善を図っていく。(10)については、写真を撮る機会が平常時より少なくなったため、期待の声が寄せられている。

「アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理に努めている(14)」81%(-7%)であった。現在、アレルギー食の提供ができないケースが複数ある。給食業者の限界もあり、安全第一ということで保護者にはご理解をいただいているところである。

- ➡ 毎年度当初、園内研修でアレルギー対応の実践研修を行っているが、今後も安全な給食を徹底するため実施体制の管理に努めていく。次年度は、温かい米飯の配膳を行う。また、體祭りやクリスマスなど季節の行事が感じられる給食内容の充実についても引き続き行っていく。

＜子育て支援＞

子育て支援として、「早朝・預かり保育に満足している(18)」は 81%(+14%)で、「コロナ禍の中、柔軟に対応していただいて感謝している」との声がある。無償化の実施 4 年目に入り、趣旨に沿った利用に対する理解も得られるようになってきている。また、利用人數に応じた安全な指導体制の構築も充実させてきた。

- ➡ 預かり保育の内容について充実を図るとともに、ご利用が必要な場合、ご相談の上、弾力的に対応できるように検討もしていきたい。

「バス送迎(ルート・方法)(9)」の利用者の 78%(-3%)が満足して、「現在地を知らせるGPSの設置を要望したらすぐに実施されたので感謝している。」という声も届いてい

る。

- ⇒ 一方、欠席などの連絡が伝達されていないことがあり、再発防止のため、連絡事項の伝達の徹底を図る。

「課外クラブ(内容・回数・費用)に満足している(7)」67%(-7%)であり、課外クラブに対する期待の大きいことがわかる。

- ⇒ キッズダンスクラブ、寺子屋教室の増設に加え、次年度は、プログラミング(年長対象)、新体操スクール(全国児対象)の開校を行い、課外クラブの充実を図る。

＜まとめ＞

経営方針「育つ幼稚園」のもと、「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育～豊かな遊びから確かな学びへ～」を掲げ、保護者の皆さまとの信頼関係の構築に努めながら、3つの力を育てる教育活動を展開してきました。

今回の教育アンケートから、「園の教育はお子さんに合っている。(4)」(92%)を感じられており、今後の改善・充実を図る観点はあるものの、本園教育は概ね良好な状態にあると受け止めています。

次にご紹介するのは、教育アンケートを受けての教員の声です。「よい幼稚園」とは課題がないのではなく、課題を共有して向き合える園であると考えています。

＜教員の声＞

本園のよさは、子どもたちに掛ける言葉掛けが丁寧であることだと思います。私自身、まだまだ未熟な部分はあるかもしれません、先生方の声掛けを聞いて意識する部分があります。子どもたちにとって、丁寧な言葉掛けは良い影響を与えていると思います。また、私自身丁寧な言葉掛けを意識することで、仕事とプライベートのオンとオフを切り替えられるようになったり、丁寧に子どもに伝えようとすることで子どもも理解につながったりすることもありました。その優勢が保護者にも伝わっていると感しく思います。

そのためには、園長先生がよくおっしゃっている「見てござる」が大事になり、誰に見られても良いように毎日意識をしており、このことは後輩にも伝えていきたいです。

次に、何か困ったことや悩みがあった際に、相談できる先生方がいらっしゃるということです。一人で抱え込むのではなく、一緒に考えようとしてくださる先生方やそのような雰囲気が良いと思います。何事も助け合いだと思うので、自分がこれまで助けてもらったり手伝ってもらったりしてきたことを、これからも返していく様に努めていきたいと思っています。

最後に、園全体としても、教育アンケートだけでなく、何か保護者の方からお言葉をいただいた際には、すぐに園全体でお有して改善策を考え取り入れようとしていることも本園のよさだと思っています。

「一人の100歩より、100人で一歩ずつ進みあげていこう！」

保護者の方から次のようなお声をいただけます。今後も、よりよい幼稚園づくりにむけて、教職員とともに励んでまいります。貴重なご意見をありがとうございました。

＜保護者の声＞

コロナ禍の中でも工夫して園行事を行って頂き、子どもだけではなく保護者も楽しめるようして下さっています。幼稚園での時間だけではなく、帰宅してからも幼稚園の話で盛り上がりして、子供が楽しんでいて、そして学びがあることを感じます。

担任の先生の言葉一つ一つが子どもたちに入っていて、「なぜ？」こうしたらよかったですのか」「なぜ？」をしっかりと伝えてくれているので、とても満足しています。

園の保育方針を理解し、クラスの保育目標に對応することができている。全体的に非常にいい幼稚園だと思っています。

対象: 212人回答/229人(回収率93%)

実施日: 令和4年1月 配布

★ : 評価が高い項目

☆ : 調査となる項目

1	総合学園の特色を生かした専門性の高い幼児教育を実施している。
2	教育理念「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」は、現行の教育課題を踏まえており、それに沿った教育活動が展開されている。
3	3つ(からだ・こころ・ことは)の力を育てる教育活動が展開されている。
4	園の教育は、お子さんに合っていると感じられる。
5	園行事(行事・回数)は工夫されている。例:運動会、作品展、生活発表会
6	外部講師による教育活動(英語・学習・体育)に満足している。
7	講外クラブ(内容・回数・費用)に満足している。
8	施設・設備の環境整備は充実しており、満足感がある。
9	バス送迎(ルート・方法)には利便性がある。(個人送迎の場合?を選択)
10	写真掲示、Facebook、HP、LINEなどの情報発信に努めている。
11	幼稚園全般が明るく開いた雰囲気があり、好感がもてる。
12	教職員間での報告・連絡・相談を生かした組織的な運営に努めている。
13	避難訓練、緊急メール配信、警備員配置など危機管理に努めている。
14	アレルギー対応をはじめ、給食の安全管理に努めている。
15	教員は、子ども理解に努め、誠実に保育に取り組んでいる。
16	教員は、無理を生かした創意工夫ある保育に取り組んでいる。
17	教員は、保護者との信頼関係の構築に努めている。
18	子育て支援として、早朝・預かり保育は役立っている。
19	子育て支援として、園長室など、学年などによりは役立っている。
20	子育て支援として、園庭開放、親子広場、体験保育は役立っている。
21	園は、教育アンケートなど、よりよい幼稚園づくりに努めている。

城南学園幼稚園

令和3年度 教育アンケート

